

内子町長 稲本 隆壽 殿

内子町環境マネジメントシステム監査チーム

主任監査員 江崎 美枝子

副主任監査員 入江 英昭

副主任監査員 上村 光重

独自目標監査報告書

LAS-E独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監査日時 平成26年7月8日(火) 13:30～15:15
2. 監査対象 内子町
3. 監査内容

【独自目標（平成25年度実績）監査】

エコアクション(環境活動) ①第1ステージ/④第2ステージ/⑦第3ステージ
 エコマネジメント(環境経営) ②第1ステージ/⑤第2ステージ/⑧第3ステージ
 エコガバナンス(環境自治) ③第1ステージ/⑥第2ステージ/⑨第3ステージ

4. 監査結果

区分	目標	達成状況	LAS-E 規格	
			視点	評価
A107	電気使用量を、平成22年度と比較して4%以上削減します。	○	①	△
A108	ガソリン使用量を、平成22年度と比較して6%以上削減します。	×		
A109	軽油使用量を、平成22年度と比較して15%以上削減します。	×		
A110	紙ごみの分別率を100%にします。 (リサイクル可能な紙ごみを可燃ごみに入れないようにします。)	×		
A111	職員のノーマイカーデー実施率を年平均で80%以上にします。	○		
A112	可燃ごみの排出量を、平成22年度と比較して20%以上削減します。	○		
A113	温室効果ガスの排出量を、平成22年度と比較して4%以上削減します。	×		
B111	環境に係る集合研修を年1回、部署別(施設単位含む)研修を年2回以上開催します。	○	②	○
C107	環境に関連する情報を、広報及びHPで年12回以上提供します。	○	③	○
A208	内子町環境基本計画 3つのシンボルプロジェクトについて事業達成度を示す指数及び数値目標を設置し、実施します。	69/84	④	○
A209	内子町環境基本計画に関連した独自の数値目標を各部署で設定し、実施します。	○		
B209	内子町環境マネジメント推進本部会議を年2回開催し、評価・見直しを行います。	○	⑤	○
C209	環境に関する施策・事業計画等について、町民との直接の意見交換会を年1回以上実施します。	○	⑥	○
A311	自治会が取り組む地域づくり事業のうち、環境に関連した事業について90%以上の達成率をめざします。	○	⑦	○
A312	再生可能エネルギーの活用を検討するため、住民団体の主催で、再生可能エネルギーの導入に向けた実践ワークショップを年3回開催します。	×		
B304	内子町環境保全審議会を年1回以上開催し、住民主体で政策の評価・見直しを行います。	○	⑧	○
C307	町民・事業者や環境パートナーシップ組織の取り組みについて、年1回は広報で紹介するとともに、年次報告書に掲載し年1回公表します。	○	⑨	○

※ 達成状況：○=達成、×=未達成、A208については全プロジェクト中の目標達成数

※ 評価：○=良好、△=改善要望、×=勧告

5. 所見

(1) 評価

平成25年度の独自目標について監査した結果、第1ステージのエコアクションのみ「改善要望(△)」、そのほかの8つの視点すべてについて「良好(○)」と評価しました。

(2) 第1ステージのエコアクションについて

個々の達成状況をみると、7項目のうち4項目で目標を達成していませんでした。ガソリン使用量については走行距離が増加傾向にあることから、業務が公用車を必要とする内容になってきているのかもしれませんが。軽油使用量については走行距離が減少傾向にあるものの、特に昨年度は例年より日照時間が長く車のエアコンを使用したり、降水量も多く大雨時の見回りが発生したりと、悪い条件が重なって燃費が悪くなっているようです。

温室効果ガスの排出量の内訳をみると平成22年度より増加している項目のうち、A重油については使用量の98%を占める給食センターにおいて、調理済みのものではなく町内産の食材を生から調理するために油等を使って下ごしらえをしたり温水を使用したりするプロセスが増えたこと、灯油については平成23年度に大型暖房機器2器を導入したことで平成25年度に計上漏れが見つかったことなどが原因として挙げられています。

達成できていない項目が過半数で「勧告(×)」と評価することも考えられますが、やむを得ない理由や他の事業との関係もあり「改善要望(△)」と評価しました。

公用車使用時には、他の交通手段に置き換えられないか、他の職員と乗り合わせできないか、走行ルートは適切かなどを今一度精査するとともに、エコドライブについて復習する機会を設けることもご検討ください。

(3) 第2ステージのエコアクションについて

A208 環境基本計画3つのシンボルプロジェクト84項目のうち15項目について目標を達成していませんでした。全体でみると項目ごとの実施率は年々向上してきてはいますが、平成24年度と比較するとやや後退しました。その内容は、目標値にわずかに届かなかったもの、都市計画審議会は開催する機会がなかったことによるものなどということもあり「良好(○)」と評価しました。

環境基本計画の第Ⅱ期計画は今年度が最終年です。特に目標達成できなかった項目については、共通実施項目監査の中で担当部署へ直接、実施状況を確認させていただきたいと思えます。

(4) 第3ステージのエコアクションについて

A312 再生可能エネルギーの導入に向けた実践ワークショップの開催について、目標は3回開催のところ1回となり目標を達成できませんでした。しかしワークショップ開催後、受講者が太陽光発電を使えるように支援し、活用状況の発表会を行うといったフォローアップをしていたということです。実効性を重視したことによるものと判断し「良好(○)」と評価しました。

A311 自治会が取り組む環境関連事業は、活動内容が花や樹木の植栽に集中している中で、論田自治会の小水力発電のようなエネルギー分野の取り組みも出てきました。『内子町環境報告書2012』でも紹介されていますが、地域づくり事業としてこのような事例があることを町が積極的に紹介することで他の自治会に広がっていくことを期待します。

(5) その他

B111 部署別研修は年4回以上開催され、A209 環境基本計画に関連した部署別目標も設定し実施されるなど、全体として良く取り組まれています。引き続き「キラリと光るエコロジータウン内子」を維持・向上していただくようお願い致します。